

輝いている人を紹介します

まちのキラリ

石田ヒガンバナまつり
実行委員会 委員長

ぜんいち
遠藤 善一さん (霊山町)

国道 115 号を走ると、ヒガンバナの鮮やかな赤が目にとまります。霊山町石田地区には、25 万本ものヒガンバナが植えられています。「地域の花」として、平成 25 年から地域で手入れをしてきました。遠藤さんがヒガンバナの植栽を始めてから今年で 17 年。石田の魅力を総動員したヒガンバナまつりのきっかけを作った遠藤さんに話を伺いました。



石田の景色に映える

中山間地域の振興策として斜面に花を植えようと考えました。私の家は高台で国道を通る車からよく見えるので、賑やかにすれば喜んでもらえると思いました。ヒガンバナの赤が稲穂の黄金色とマッチしてきれいなんです。里山代表の素朴な花で、石田の景色になじむところが好きです。

みんなで決めた地域の花

石田ふるさと振興会で石田の花を決めようと思いを募った時に、一番多かったのがヒガンバナでした。振興会の声かけで、石田川沿いの堤防に植えたり、草刈りをしたり、地域の人たちが「みんなでやろう」と一体感を持って手入れしています。

「オール石田」のまつり誕生

写真を撮りに来る人が増えたので、さらに広めたくておまつりを始めました。景観を作ってきた使命感もありま

す。フォトコンテストの賞品を石田の米や野菜の詰め合わせにしたり、婦人会の皆さんが振る舞いをしたり、人も食べ物も石田づくし（笑）気持ちですごく入っています。

石田の未来を見据えて

球根が増えて、これから年を重ねるごとにどんどん花が良くなりますから、楽しみでしようがないです。若い人から、地域のためにできる限りのことをしたいです。



石田ふるさと振興会の会長渡辺三男さん(右)と事務局長菅野直芳さん(左)と花を愛でながら、石田の未来を語る。

※今年度はフォトコンテストのみ実施

